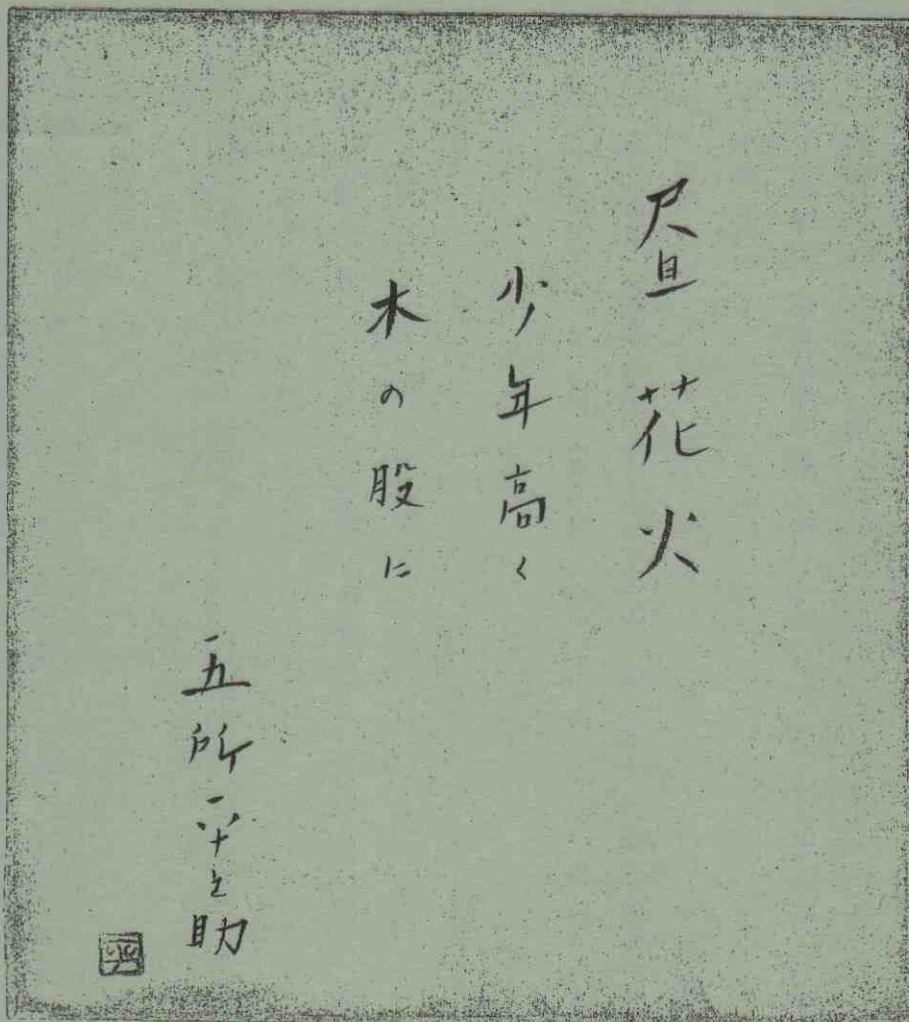


宇佐市民図書館 2005.03
 郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679
<http://www.usa-public-library.jp/>

今月の表紙

五所平之助自筆俳句色紙「昼花火少年高く木の股に／五所平之助」



目次

- ◆今月の表紙・映画監督Ⅱ五所平之助の俳句色紙⑦
- ◆五所平之助『わが青春』より⑧
- ◆龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(46)
- ◆新着郷土資料目録・平成十八(二〇〇六)年二月

4 2 1

血筋といふのか、私の祖父も父も芸能への趣味が深く、他の人の目から見ると、私の映画入りは、血筋は争われない、という事になってる。祖父は九州男児には似合わず、諸芸に達していて、小唄の「蝙蝠が出てきて浜の夕涼み……」という振り事は枯れた芸だと定評があり、背が高く痩せていたおじいさん独自の境地だった。

美男の人氣力士浦の浜は父も大のひいきで、関取は神田の店へよく挨拶に現れたりした。惜しいことにフグの中毒で横綱の志ならず早死にしまった。名人の落語家も名題の歌舞伎俳優も、浅草六区の玉乗りや源水という名跡の独楽廻しなど、祖父も父も肩を入れていた。

五所平之助『わが青春』より
 永田書房・1978

龍膽・小野精一編 大分県人名辞典

本文編 (46)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。

収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に連載しました。

おかさ

おかさき・せいこうろう

岡崎清九郎

北海部郡一尺屋村の人。明治十四年以来、貯金組合設立に奔走し、貯金奨励のみならず風紀改良等公共事業を起こさんと自ら進んで組合長となり、同三十九年に至り、組合法により、有限責任一尺屋村積立共同信用組合と改め、産業発展、風紀改善、勤勉貯蓄の実行を主とし、実践大にみるべきものあり。其外、水産林習学校を設立し、下浦青年会を組織し、夜間普通学科を授け、漁船漁具の改良或は遠洋漁業の発達を図るため、講話会議等を開き、水産動植物の養殖保護を図るため、魚介採取期を設立する等、漁業、農業、之が改善は皆氏の斡旋

おかた

おがたこれよし

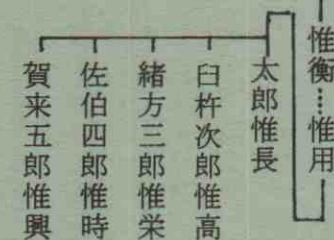
緒方惟栄

大神惟基の曾孫。白杵惟用の第三子。惟義伊能ともいい、大野郡緒方郷に居城し、いわゆる緒方党を率いて源氏に款を通し、藤原頼資は院宣を奉じ、日田永秀、白杵惟隆、緒方惟栄に平氏追討を命じた。平軍大宰府に拠るや惟栄は兄惟高、日田の大蔵永秀等と道を分けて之を攻めた。平家大宰府を落ち、宇佐公通に通じ宇佐八幡に戦勝を祈ったので、宇佐を焼討したので頼朝の怒に触れ、上野の沼田に流された。

(豊後国史)

文治元年、義経兄頼朝と隙を生ずるや義経九州に降り、惟栄に拠り大に為すあらんとす。惟栄岡城を築きて彼を待つ。然るに義経大浦浦にて大風に遭い、西下の意思を放棄したので実現に至らなかつた。
一説に惟栄宇佐宮を焼くや、帝震怒し惟栄を下野に流す。後、赦免に逢い、帰国の途次、速見郡に歿した。

(大典)



おかだ・しょうだゆう

岡田庄太夫

日田第一交代官。中津藩主小笠原長胤失政を以つて元禄十一年、城郭及び八満石を没収され、四万石とは公領に召し上げられて岡田庄太夫代官に任命され元禄十二年正月下僚七人を伴い中須賀港に着船し一旦四日市代官に就き、更に日田代官に転じた。爾来、約十六年間に在任。其後、約二十年間に室七郎、池田喜八郎、増田太兵衛の三代を経て享保十九年に第一代岡田代官は姓同名の代官が着任した。

おかだ・しょうだゆう

岡田庄太夫

五代目代官。享保十九年の赴任だが、在任二十一年の永きに亘っている。式は、第一代岡田庄太夫の子息ともいつている。元文二年、日田陣屋の改築普請をなし、宝暦四年まで

在任していた。六代目の代官も岡田九郎右衛門とて宝暦四年から同八年まで五ヶ年在任であった。

おがた・のぶゆき

緒方暢之

宇佐郡佐田村の人。賀来飛霞の長男。其先緒方姓であるので、緒方と名乗る。東の門人である。長三洲等来つて勤王を説くや佐田秀等と之に応じたが、時枝奥捕えらるるや佐田秀と長州報国隊に投ず。花山院防州に下るや、佐田秀等と馬城

おかだ・らんうん

岡田懶雲

白杵の人。南画家。名徳一郎。神戸在任四十年、会社員となり傍ら画を嗜む。昭和六年帰郷。昭和十一年、八十で白杵に歿す。

おかべ・えいたろう

岡部栄太郎

別府野口の人。巨万の富を有していた。大正十三年、葉桜の頃、一老尼に宿を与えた。其老尼の浄業に感化され、大に代脱の縁を得。夫妻伴い上京をして、本山妙心寺で得度し、名も栄信と改め、十数万の私財を投じて罪業消滅のため大仏献立を志し、全国を行脚し、七十万の白

骨、生者三十万の毛髪を集め、大仏建立に全生命を投じた。市民も大仏後援会を起し、参拝道路など完成した。大仏胎内を三階に分ち、階下を極楽界、二階には十三仏三十三観音、弘法大師八十八郎を置き、三階にもあらゆる仏像を安置し、戒壇廻りが出来る様になっている。顔の巾一尺、頭の周囲六十二尺、口の長さ六尺、鼻の高さ三尺、目の長さ六尺、親指の廻りが六尺という。奈良の大仏より十数尺高い。総丈八十尺、昭和元年起工し、同三年三月開眼式を挙げた。

(著者調)

バックナンバーは、郷土スペース(雑誌架)にファイルしています。ご希望のかたには、中央カウンター(そうだん)でさしあげます。

新着郷土資料目録 平成18(2006)年【2月】

書名/人名/出版社/出版年(月)/請求記号/(備考)

- 宇佐市読書感想文コンクール～作品集～ 第2回/宇佐市民図書館
/宇佐市教育委員会/2005.10/A019ウ
- 大分県文化年鑑2003/大分県芸術文化振興会議/2004.3/A059ウ(寄贈)
- 宇佐市勢要覧2006/宇佐市総務部企画課/2006.3/A059.14/(寄贈)
- 大分蘭学事始—文明開化への道—/大分県立歴史博物館/2005.10/A069オ(寄贈)
- 殿様のコレクション—臼杵藩と絵図—/大分県立歴史博物館/2005.12/A069オ/(寄贈)
- 九州のキリシタン大名/吉永正春/海鳥社/2004/A197ヨ/(購入)
- 鼎の国日本古代国家の実相/坂田護/海鳥社/1998/A203サ/(購入)
- 「天・日」の称号と「豊」の美称/吉田舜/海鳥社/2004/A203ヨ/(購入)
- 九州西瀬戸古代史論攷/森猛/海鳥社/2002/A203モ/(購入)
- 中世九州の政治・文化史/川添昭二/海鳥社/2003/A203カ/(購入)
- 陳寿が記した邪馬台国/生野真好/海鳥社/2001/A203シ/(購入)
- 天日槍と日本人の足跡/曹智鉉/海鳥社/2005/A210.3チ/(購入)
- 江藤家系図/宇佐:江藤文雄/2003.1/A288/(寄贈・館内利用)
- 火燵/松岡沙鷗/海鳥社/2003/A289/(購入)
- 郷土資料事典 大分県 観光と旅/観光と旅編集部/人文社/1978.5/A290キ(寄贈)
- 絵合わせ九州の花図鑑/益村聖/海鳥社/1995/A290マ/(購入)
- 大分学・大分楽Ⅲ/辻野 功/明石書店/2006.12/A302ツ/(寄贈)
- 第六回宇佐市議会臨時会会議録 平成17年9月/宇佐市議会/2006.9/A314.5ウ/(寄贈)
- 第七回宇佐市議会定例会会議録 平成17年12月/宇佐市議会/2005.12/A314.5ウ/(寄贈)
- 宇佐市統計書 平成17年版/宇佐市総務部企画課統計係/2006.3/A351ウ/(寄贈)
- 新・山中トンネル水路 水力発電所を探訪する/河津武敏/日田:西日本新聞印刷
/2005.12/A540カ/(寄贈)
- 第1回宇佐航空隊史跡等保存事業検討委員会報告書/宇佐市企画課/1994.3/A709ウ/(寄贈)
- 風の記憶/風の記憶刊行会/海鳥社/1998/A740カ/(寄贈)
- くれはし(第二集) 句集/宇佐市観光協会/1974.3/A911.3/(寄贈)
- 今ひとたびの/高見順/青龍社/1947/A913タ/(購入)
- タンちゃんってだあれ?/冨永美津子・本田有子/宇佐:明治印刷/2005.11/A913ト/(寄贈)
- 厚物咲/中山義秀/新潮社/1948.6/A913Y48/(購入)
- 霧の湯布院から/高見乾司/海鳥社/1995/A914タ/(購入)
- 山庭の四季3/藤井綏子/海鳥社/1990/A914フ/(購入)
- 山麓のアルペジオ/藤井綏子/海鳥社/1993/A914フ/(購入)
- 餓島巡礼/渡辺考/海鳥社/2005/A916カ(購入)
- 特攻くずれ自衛隊に入る/永末千里/海鳥社/1995/A916カ/(購入)